

議 事 概 要 書	
令和 8 年度第 1 回玉野市スポーツ推進審議会	
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 9 日（木） 10：00～12：00
開 催 場 所	玉野市立中央公民館 多目的室（大）
出 席 委 員	玉野市スポーツ推進審議会委員 9 名（欠席委員 2 名）
傍 聴 の 可 否 （非公開の理由）	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	1 開会 2 委嘱状の交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 事務局紹介 6 役員選出 自薦、他薦ともになかったため、会長 1 名、副会長 2 名を事務局より提案、了承 7 会長あいさつ 8 議事 （1）玉野市スポーツ推進審議会について （事務局） 玉野市スポーツ審議会の概要、目的等及び今年度のスケジュール案について説明 （2）「第 2 次岡山県スポーツ推進計画2025年改訂版」について オブザーバーとして出席の岡山県環境文化部スポーツ振興課より、第 2 次スポーツ推進計画2025年改訂版について説明 （3）「玉野市スポーツ推進計画」骨子案について （事務局） 計画の位置づけ、計画期間、前計画の評価検証、新計画の骨子案について説明 ・計画期間 令和 9 年度～18年度の10年間 ・基本理念 「スポーツの力でいつまでも元気な ひと・まち たまの」 ・基本目標 1 ライフステージに応じたスポーツの推進 2 スポーツを通じた繋がるまちづくり 3 スポーツを支える基盤整備 （委 員） 3つの基本目標をこのように分けた理由は。 （事務局） 各基本目標に応じた基本施策を配置することで、計画全体をより分かりやすくしたい。それぞれの目標・施策は相互に関係しているが、大きく3つに分類することで、分かりやすい計画になると考えているため。

	(委 員) 基本目標について、1つ目は「スポーツをする」、2つ目は「スポーツを通じてつながる」、3つ目は「支える」という形で捉えると分かりやすいと感じたが、そのような考え方でよいのか。 (事務局) そのとおりである。 (委 員) 現在、どの種目においても、スポーツ少年団活動が衰退しているのが現状である。 (事務局) スポーツ少年団活動が衰退してきていることは把握しており、新計画の中で、少しでも歯止めがかかるような具体的施策を検討していきたい。 (委 員) まずは課題を確認した上で、それらを解決するための施策として新計画に位置づけていくことが重要である。 (4) 市民アンケートの内容について (事務局) アンケートの対象、回答方法、内容について説明 ・対象 一般市民、小・中学生、スポーツ団体 (委 員) 対象を小学生は5・6年生というのは理解できるが、中学生は1・2年生として、3年生が対象でない理由は。受験があるためか。 (事務局) お見込みのとおり、8月に実施予定のため、夏休みの追い込み時期であることを考慮している。また、中学生全員を対象にすると1,000人を超えるため、人数のバランスも考えた案である。 (委 員) 団体に対するアンケートは、1団体につき1つの回答を想定しているのか。 (事務局) そのとおりである。 (委 員) 8月に小中学生アンケートを実施するとのことだが、具体的にウェブでどのように実施するのか。 (事務局) 市から保護者宛てに、保護者連絡システムを通じて個別にメールを送信する予定である。「お子様と一緒にご回答ください」「お子様の意見でご回答ください」といった内容を記載し、ウェブアンケートフォームへのリンクを送付する方法を考えている。 (委 員) 中学校3年生についても、アンケート内容が簡単であれば対象に入れてもよいのではないか。また、小学生についても、保護者と一緒に回答するのであれば、もう少し低学年の声も拾えるのではないか。子どもたちの声を大事にする観点から、対象学年の拡大を検討してほしい。 (事務局) 対象者数については、いただいた意見を踏まえ、どこまで対象にするか再度検討する。 (委 員) スポーツ団体には重複している団体もある。アンケートの抽出はどのように行うのか。 (事務局) 団体が重複している場合は、集約して送付する予定である。ただし、代表者が同じ別の団体には、それぞれ回答してもらうことを想定している。
--	---

	(委 員) 要望的な内容を記入できる自由記述欄があるとよい。子どもたちが「こういう場所があったらいい」「こういう施設を活用したい」といった意見を書ける欄があれば、市の施策に生かす上で有効ではないか。 (事務局) 自由記述欄や要望記述欄を設ける予定である。 (委 員) 設問は、基本目標に対応する形で整理した方が、集計しやすいのではないかと。どの設問がどの基本目標に対応しているのか、ひも付けをしておくといふ。 (事務局) 基本目標と設問をひも付けた上で、基本目標の並びに沿った設問順となるよう、アンケート項目の順番も検討する。 (委 員) アンケートを取ることで、子どもたちにスポーツへの関心を持ってもらう機会になってほしい。玉野市ならではの、例えばビーチスポーツ、ボルダリング、マリンスポーツ、自転車競技などを選択肢に盛り込むことで、「玉野市にはこういうスポーツがある」と気づいてもらえるのではないかと。 (事務局) 項目の中に、玉野市ならではのスポーツなどを盛り込むことを検討する。 (委 員) 年齢、性別、住まいは重要な情報である。どこに住んでいる方が、何をしたいと思っているのかを把握できる設計になっているか。 (事務局) 基本属性として、性別、住所、年齢を聞く予定である。住所については、宇野、築港などの地区名での回答、年齢についても、20代、30代など年代別での回答を想定している。小中学生については、学校名と学年を聞く予定である。また、アンケート内容が完成した段階で、実施前に委員へ情報提供する。 (委 員) アンケートは「する」スポーツが中心になっているように見える。スポーツを「観る」「支える」という視点も重要であるため、何を観戦しているのか、今後どう観戦したいのか、どのようなボランティアに参加したのかなども把握できるとよい。施策づくりや目標設定に役立つため、検討してほしい。 (事務局) 設問内容を検討する。 (委 員) 学校名だけでなく、居住地区も聞いた方がよいのではないかと。特に中学校では複数の地区から生徒が通っている。小学校でも学区外から通う児童がいる場合がある。居住地区を把握することで、スポーツができない理由として、距離や交通手段などの要因を分析しやすくなる。 (事務局) 検討する。
--	---

	(委 員) 市内の企業に対してはアンケートを実施しないのか。市外在住であっても、仕事で玉野市に来ている人が、仕事後にスポーツをして帰る可能性もある。市民ではないかもしれないが、そうした人も調査対象に含めると、玉野市として有益ではないか。 (事務局) 企業へのアンケートは想定していなかった。どの企業に依頼するかも含めて検討が必要であるが、可能であれば、企業へも協力を依頼する。 (委 員) 一般向けアンケートは無作為抽出とされているが、健康寿命の増進という観点からは、40代、50代、60代以上などの状況も把握できるようにした方がよい。年代ごとの傾向が見えるような抽出方法を検討してほしい。 (事務局) 完全な無作為抽出とするか、年代ごとに人数を設定して抽出するか、抽出方法を検討する。一般向けは基本的に20代以上を想定しているが、20代、30代、40代、50代、60代など、年代ごとに一定数を抽出できるか確認する。 (事務局) 体育施設利用団体については、施設でのアンケート配布を想定している。利用者への声掛けに協力してほしい。ウェブ回答または施設での受け取りにより対応いただけるとありがたい。 (委 員) 施設利用者には市外の方も多いが、市外の方も対象としてよいのか。 (事務局) 玉野市の施設を利用している方であれば、市内・市外を問わず、協力いただける方には回答をお願いしたい。 (5) その他 現在は「前計画」「新計画」と呼んでいるが、策定後に従来の計画と新たな計画の区別がつきにくくなるため、新たな計画の名称を「第2次玉野市スポーツ推進計画」とすることを提案 9 閉会
特 記 事 項	無
事 務 局	玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329